

# 精神看護学

# 精神看護学

## 目標 I. 精神保健の基本と保持・増進に向けた看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
1 精神保健の基本	A 精神の健康の概念	a 精神の健康の定義	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 A 「精神の健康とは」 (p.26~33) 公衆衛生 : 第 7 章 D-1-1 「精神保健領域における活動理念」 (p.209~210) 精神保健福祉 : 第 1 章 B-1 「精神保健福祉とは」 (p.5~6)
		b 精神障害の一次予防・二次予防・三次予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-4 「精神保健における 3 つの予防概念」 (p.41~42) 公衆衛生 : 第 7 章 D-1-2 「地域での暮らしと精神の健康を支える」 (p.210~212) 精神保健福祉 : 第 4 章 「精神保健福祉活動の展開に必要な知識と技術」 (p.66~120)
	B 心の機能と発達	a 精神と情緒の発達	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-2 「ライフサイクルとアイデンティティ」 (p.73~78)
		b 自我の機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-3-1 「自我の構造」 (p.80~81)、B-3-3 「自我の発達段階」 (p.85~87)
		c 防衛機制	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-3-2 「不安と防衛: 自我の防衛機制」 (p.81~84)
		d 精神力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 3 章 B-3 「無意識と精神分析: フロイトの精神力動理論」 (p.78~87)
		e 転移感情	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A-8 「治療的關係と家族」 (p.127~128) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 4 章 E-1 「転移・逆転移」 (p.43~44)
	C 精神の健康に関する普及啓発	a 偏見、差別、スティグマ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 7 章 D-1 「逸脱とスティグマ」 (p.311~312) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 B-1-3 「入院のデメリット」 (p.93~96)
		b 精神保健医療福祉の改革ビジョン	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 1 章 B-2 「世界からみた日本の精神科医療の現状」 (p.9~13)、第 7 章 B-5 「2000 年以降の長期入院患者の地域移行の動き」 (p.301~303) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 A-2 「長期入院患者の地域移行への支援」 (p.263~266) 社会保障・社会福祉 : 第 7 章 B-3 「障害者福祉制度の変遷」 (p.177~181)、B-4 「新たな法体系の整備」 (p.181~186) 精神保健福祉 : 第 3 章 B 「施策の動向」 (p.56~63)
	D 危機 (クライシス)	a 危機 (クライシス) の概念	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 6 章 A-2-3 「健康破綻による危機状況」 (p.193~195) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-3 「精神保健における『危機』という考え方」 (p.41) 精神保健福祉 : 第 4 章 B-1-1 「危機的状況とはなにか」 (p.82~83)
		b 危機 (クライシス) の予防	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-4 「精神保健における 3 つの予防概念」 (p.41~42) 精神保健福祉 : 第 4 章 B 「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」 (p.81~101)
		c 危機介入	成人看護学 [1] (成人看護学総論) : 第 6 章 B-1 「危機にある人々への支援」 (p.195~199) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-4 「精神保健における 3 つの予防概念」 (p.41~42)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		d ストレスと対処	家族論・家族関係論：第6章 D-3-2「危機介入の理論と実際」(p.205～208) 精神保健福祉：第4章 B-1「危機的状況に対する早期介入」(p.82～87) 成人看護学 [1] (成人看護学総論)：第5章 B-2-2「ストレスとその対処」(p.166～168) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-5「危機の対処(コーピング)」(p.42～45)
		e 適応理論	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 C-5「危機の対処(コーピング)」(p.42～45)、E-3「喪失と悲嘆」(p.49)
	E 災害時の地域における精神保健医療活動	a 災害時の精神保健医療活動	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 G「災害と精神看護」(p.334～340) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140～143) 精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98～101)
		b 災害時の精神保健に関する初期対応	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C-4「緊急事態ストレスマネジメント(CISM)」(p.184～187)、第13章 G「災害と精神看護」(p.334～340) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140～143) 精神保健福祉：第4章 B-2-5「災害と精神保健福祉」(p.98～101)
		c 災害時の精神障害者への治療継続	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第10章 C「院内を中心とした災害時のケア」(p.182～187)、第13章 G「災害と精神看護」(p.334～340) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学)：第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140～143)
	F 精神の健康とマネジメント	a 心身相関と健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 A「精神科における身体のケア」(p.190)、B「身体にあらわれる心の痛み」(p.191～193)、第14章 B-2「リエゾン精神看護の歴史」(p.349)
		b 身体疾患がある者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章 D「日常から気をつけておきたい身体合併症」(p.216～223)、第14章 A「身体疾患をもつ患者の精神保健」(p.344～346)
		c 精神疾患がある者の身体の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章「身体をケアする」(p.190～244)
		d 患者と家族の精神の健康	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 A-6「家族療法の考え方と技法」(p.122～125)、A-8「治療的関係と家族」(p.127～128)
		e 保健医療福祉に従事する者の精神の健康	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章 D「看護師の精神的健康への支援」(p.369～371)
		f 心身相関の考え方に基づくホリスティックケア	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第11章「身体をケアする」(p.190～244)
		g リエゾン精神看護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第14章「リエゾン精神看護」(p.344～371)
		h 患者、家族、保健医療福祉の専門職間の連携促進	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第13章 A-4「クライアントとしてのコミュニティ」(p.269～270) 精神保健福祉：第6章「地域移行支援の展開」(p.158～203)、第7章「地域生活支援の展開」(p.206～240)

目標Ⅱ. 主な精神疾患・障害の特徴と看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
2 主な精神疾患・障害の特徴と看護	A 症状性を含む器質性精神障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209~219)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209~219)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-7 「器質性精神障害」 (p.209~219) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259~260)
	B 精神作用物質使用による精神・行動の障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220~225)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220~225)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-8 「精神作用物質使用による精神および行動の障害」 (p.220~225) 臨床薬理学 : 第4章 D-1 「精神および神経症状にかかわる薬物」 (p.259~260)
	C 統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」 (p.165~183)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」 (p.165~183)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2 「統合失調症」 (p.165~183)、第6章 B-1-2 「抗精神病薬」 (p.240~249) 臨床薬理学 : 第4章 D-2 「抗精神病薬の臨時投与」 (p.261~267)
	D 気分〔感情〕障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3 「気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」 (p.183~192)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3 「気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」 (p.183~192)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-3 「気分〔感情〕障害〔双極性障害および関連障害群、抑うつ症候群〕」 (p.183~192)、第6章 B-1-3 「抗うつ薬」 (p.249~251)、B-1-4 「気分安定薬(抗躁薬)」 (p.251~252) 臨床薬理学 : 第3章 S 「うつ病・うつ状態」 (p.196~202)、第4章 D-3 「抗不安薬の臨時投与」 (p.269~272)
	E 神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193~203)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193~203)
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-4 「神経性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害」 (p.193~203)
	F 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	a 症状と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p.203~208)
		b 臨床検査および心理検査と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p.203~208)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5 「生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群」 (p.203~208)
	G パーソナリティ障害	a 症状と看護 b 臨床検査および心理検査と看護 c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6 「パーソナリティ障害」 (p.208~209) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6 「パーソナリティ障害」 (p.208~209) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-6 「パーソナリティ障害」 (p.208~209)
	H 習慣および衝動の障害	a 症状と看護 b 臨床検査および心理検査と看護 c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-11 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.232) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-11 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.232) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-11 「秩序破壊的・衝動制御・素行障害群」 (p.232)
	I 性同一性障害	a 症状と看護 b 臨床検査および心理検査と看護 c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5-3 「性機能不全、性同一性障害など」 (p.207~208) 精神保健福祉 : 第8章 D 「ジェンダーと精神保健福祉」 (p.279~288) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5-3 「性機能不全、性同一性障害など」 (p.207~208) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5-3 「性機能不全、性同一性障害など」 (p.207~208)
	J 知的障害 (精神遅滞)	a 症状と看護 b 臨床検査および心理検査と看護 c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-3 「知能能力の障害による生活上の問題」 (p.66~67)、第5章 C-10-1 「知的能力障害/知的発達障害 (DSM)」 (p.228~229) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第3章 A-4-2 「知能指数 (IQ)」 (p.65~66)、第5章 C-10-1 「知的能力障害/知的発達障害 (DSM)」 (p.228~229) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10-1 「知的能力障害/知的発達障害 (DSM)」 (p.228~229)
	K 心理的発達の障害	a 症状と看護 b 臨床検査および心理検査と看護 c 薬物療法と看護	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232)
	L 小児期・青年期に発症する行動・情緒の障害	a 症状と看護 b 臨床検査および心理検査と看護 c 薬物療法と看護	小児看護学 [2] (小児臨床看護各論) : 第18章 「精神疾患と看護」 (p.482~513) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-10 「神経発達障害群」 (p.227~232)

目標Ⅲ. 精神看護の対象の理解と支援のための概念について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
3 精神看護の対象の理解と支援のための概念	A 援助関係の構築	a 信頼関係の基礎づくり b 患者 - 看護師関係の発展と終結	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 A 「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」 (p.2~7)、B 「ケアの原則」 (p.8~15) 精神保健福祉 : 第6章 A-1 「支援開始時」 (p.158~163) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 A 「ケアの前提——感情を通して自分を知り、相手を知ること」 (p.2~7)、B 「ケアの原則」 (p.8~15)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c プロセスレコードの活用	精神保健福祉：第6章 A-2「退院導入期」(p.163～169)、第6章 A-3「退院準備期」(p.169～172) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章 D「関係をアセスメントする——プロセスレコードの活用」(p.29～42)
	B セルフケアへの援助	a 食物・水分の摂取	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115) 精神保健福祉：第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		b 呼吸	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第11章 D-4「肺炎」(p.218)
		c 排泄	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第11章 E-3-4「排便のケア」(p.231～237)
		d 清潔と身だしなみ	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第11章 C-1-3「患者の退行と看護師のあせり」(p.196) 精神保健福祉：第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		e 活動と休息	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115) 精神保健福祉：第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		f 対人関係	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、C-5-2「社会的学習と修正感情体験」(p.129～132) 精神保健福祉：第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158～173)、第7章 A-2「地域生活支援の展開と看護師の役割」(p.208～217)
		g 安全	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第8章-Column「看護の理論家たち⑤」オレムとアンダーウッド」(p.55)、第9章 B-4「入院時のアセスメント」(p.105～115)、第10章「安全をまもる」(p.144～187)
	C 生きる力と強さに着目した援助	a レジリエンス	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 E「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」(p.49～51) 公衆衛生：第7章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209～210)
		b リカバリ〈回復〉	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第2章 E「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」(p.49～51) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第9章「回復を助ける」(p.68～139) 公衆衛生：第7章 D-1-1「精神保健領域における活動理念」(p.209～210) 精神保健福祉：第4章 C「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」(p.101～120)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		c ストレングス (強み、力)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 E 「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」 (p.49~51) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A-3 「回復のビジョン」 (p.74~76)、第13章 A-3-2 「ケアマネジメントを支える思想」 (p.267~268) 精神保健福祉 : 第4章 C-2 「リカバリーを支えるためのストレングスモデル」 (p.107~112)
		d エンパワメント	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 E 「回復(リカバリー)を支える力「レジリエンス」」 (p.49~51) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 A-3 「回復のビジョン」 (p.74~76)、第13章 A-3-2 「ケアマネジメントを支える思想」 (p.267~268) 公衆衛生 : 第7章 D-5 「当事者の力」 (p.224~225) 精神保健福祉 : 第4章 A 「精神障害の予防のために——一次予防」 (p.67~81)、C 「能力の再構築と再発防止のために——三次予防」 (p.101~120)、第5章 B-4 「精神障害者の就労支援」 (p.145~149)、第6章 A 「長期入院患者の地域移行支援の展開」 (p.158~173)

目標Ⅳ. 精神疾患・障害がある者の生物・心理・社会的側面に注目した、多角的なアセスメントに基づく看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
4 精神疾患・障害がある者への看護	A 脳の仕組みと精神機能	a 脳の部位と精神機能	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 B-1 「脳」 (p.25~34)、E 「運動機能と感覚機能」 (p.47~52) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-2-4 「統合失調症の成因」 (p.174~176)、第6章 B-1-1 「向精神薬とは」 (p.239~240)、B-1-2 「抗精神病薬」 (p.240~249)
		b 神経伝達物質と精神機能・薬理作用	成人看護学 [7] (脳・神経) : 第2章 A 「神経系の分類と機能」 (p.20~25) 精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 B-1-1 「向精神薬とは」 (p.239~240)、B-1-2 「抗精神病薬」 (p.240~249) 臨床薬理学 : 第4章 D 「精神および神経症状にかかわる薬剤の投与と調整」 (p.259~276)
		c ストレス脆弱性仮説	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 C-3 「精神障害者がかかえる『現実の問題』と『生きにくさ』」 (p.19)、第5章 C-2-4 「統合失調症の成因」 (p.174~176) 精神保健福祉 : 第5章 B-3-2 「感情表出とストレス脆弱性モデル」 (p.142~143)
		d 脳と免疫機能	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第2章 C-1 「生体システムとしてのストレス反応」 (p.38~39)
		e 睡眠障害と概日リズム (サーカディアンリズム)	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-5-2 「睡眠障害(精神的要因によるもの)」 (p.204~207) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第11章 F 「睡眠の援助」 (p.237~241) 臨床薬理学 : 第2章 G 「睡眠薬」 (p.73~77)
	B 心理・社会的療法	a 個人精神療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 C-1 「個人療法」 (p.257~267)
		b 集団精神療法、集団力動	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 C-2 「集団精神療法」 (p.267~272)
		c 心理教育的アプローチ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 C 「精神療法」 (p.257~274)
		d 認知行動療法	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第5章 C-1-3 「指導・教化によって自分をふり返り、新たな生き方を見いだす療法」 (p.261~265)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		e 生活技能訓練 (SST)	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 A-4-2 「認知行動療法 (CBT)」 (p.80~82)</p> <p>精神保健福祉 : 第 4 章 C-3-3 「認知行動療法」 (p.115~116)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 C-2-4 「実際にある集団療法の例」 (p.269~270)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 A-4-1 「社会生活技能訓練 (SST)」 (p.77~80)</p> <p>精神保健福祉 : 第 4 章 C-3-4 「社会生活技能訓練」 (p.116)</p>
	C B 以外の治療法	a 電気けいれん療法	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 B-2 「電気けいれん療法」 (p.255~256)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 11 章 C-3 「電気けいれん療法の看護」 (p.210~216)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B1-1 「退院後に使用できる診療報酬」 (p.135)</p>
	D 家族への看護	a 家族のストレスと健康状態の アセスメント	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)</p> <p>在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 5 章 B-2-3 「情報の整理とアセスメントの展開方法」 (p.121~131)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B-3 「家族支援」 (p.141~144)</p>
		b 家族の対処力とソーシャルサ ポートのアセスメント	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)</p> <p>在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 5 章 B-2-3 「情報の整理とアセスメントの展開方法」 (p.121~131)</p>
		c 家族システムのアセスメント	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)</p> <p>在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 7 章 J 「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」 (p.400~408)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B-3-1 「家族システム」 (p.141~142)</p>
		d 家族への教育的介入と支援	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)、第 6 章 C-3 「家族療法」 (p.272~274)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 D-5 「家族を支援する」 (p.316~323)</p> <p>在宅看護論 : 第 2 章 C 「家族」 (p.39~50)、第 7 章 J 「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」 (p.400~408)</p> <p>精神保健福祉 : 第 5 章 B-3 「家族支援」 (p.141~144)</p>
		e 患者 - 家族関係	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 4 章 A 「全体としての家族」 (p.108~128)</p>
	E 社会復帰・社会参加への 支援	a リハビリテーションの概念	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 D-5 「精神科リハビリテーション」 (p.278)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 9 章 A-2 「精神科におけるリハビリテーションとは」 (p.72~74)</p> <p>精神保健福祉 : 第 4 章 C-1-1 「精神科リハビリテーション」 (p.102~104)</p>
		b 国際生活機能分類 (ICF)	<p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 2 章 C-4 「国際生活機能分類 (ICF) の考え方」 (p.36~38)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 F-1 「障害・難病とは」 (p.234~236)</p>
		c 長期入院患者の退院支援	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 13 章 A-2 「長期入院患者の地域移行への支援」 (p.263~266)</p> <p>公衆衛生 : 第 7 章 D-2-1 「精神健康に困難を有する人の相談機関」 (p.212~213)</p>



大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
			精神保健福祉：第4章 A-2-2「支援システムを構成するおもな社会資源」(p.75~78)、第6章 A「長期入院患者の地域移行支援の展開」(p.158~173)
	F 精神保健医療福祉に関する社会資源の活用と調整	a 精神科デイケア、精神科ナイトケア	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-2-3「精神科デイホスピタル(精神科デイケア)」(p.282~283)
		b 精神科訪問看護、訪問看護	精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-2-2「精神科訪問看護」(p.282) 在宅看護論：第2章 A-4-2「継続的な支援が必要な慢性的な療養状態」(p.34~35)、第7章 J「統合失調症の療養者に対する在宅看護の事例展開」(p.400~408) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138)
		c 困難事例に関する行政との連携(保健所、市町村、精神保健福祉センター)	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 D-2「複合的な問題をかかえた長期入院患者の退院を支援する」(p.298~305) 精神保健福祉：第8章 A「貧困と精神保健福祉」(p.244~253)
	G 社会資源の活用とケアマネジメント	a 精神疾患・障害者ケアマネジメントの基本的考え方	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 A-3「ケアマネジメントの発想と方法」(p.266~269)
		b 社会資源の活用とソーシャルサポート	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 A-4「クライアントとしてのコミュニティ」(p.269~270) 公衆衛生：第7章 D-2「地域生活を支えるためのしくみ」(p.212~218) 精神保健福祉：第5章 B-1「活用できる社会資源」(p.132~138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)
		c セルフヘルプグループ	精神看護学 [1] (精神看護の基礎)：第4章 B-3-3「セルフヘルプグループの源流」(p.131~132)、第6章 C-2-4「実際にある集団療法の例」(p.269~270) 精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-5-1「セルフヘルプグループ」(p.290) 公衆衛生：第7章 D-2-3「リカバリーを支えるために」(p.215~218) 社会保障・社会福祉：第8章 E-4「セルフヘルプ・グループ」(p.240~241) 精神保健福祉：第5章 B-5「ピアサポート」(p.149~153)
		d 自立支援医療	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-2-1「自立支援医療費」(p.282) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79~81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182~186) 精神保健福祉：第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)
		e 居宅介護(ホームヘルプ)、同行援護および行動援護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-3「その他のサービス」(p.287~288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79~81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182~186) 精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47~52)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)
		f 重度訪問介護	精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284~288) 社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79~81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182~186)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 生活介護	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284～288)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)</p>
		h 短期入所〈ショートステイ〉	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-3「その他のサービス」(p.287～288)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)</p>
		i 共同生活介護〈ケアホーム〉	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284～288)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)</p>
		j 生活訓練	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-1「日中の活動の支援」(p.286)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)</p>
		k 就労移行支援	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-1「日中の活動の支援」(p.286)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.188～192)</p>
		l 就労継続支援 A型・B型	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、B-4「精神障害者の就労支援」(p.145～149)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-1「日中の活動の支援」(p.286)</p> <p>社会保障・社会福祉：第7章 B-5-2「就労支援」(p.188～192)</p>
		m 共同生活援助〈グループホーム〉	<p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.210～217)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)、B-2「就労支援の展開」(p.221～225)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開)：第13章 C-3-2「住まいの場」(p.287)</p> <p>社会保障・社会福祉：第3章 F「公費負担医療」(p.79～81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182～186)</p> <p>精神保健福祉：第3章 A-2-1「障害者総合支援法の概要」(p.47～52)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135～138)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210～217)</p>

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		n 地域生活支援事業	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 C-3「生活を支えるサービス」(p.284~288) 社会保障・社会福祉 : 第3章 F「公費負担医療」(p.79~81)、第7章 B-3-7「障害者総合支援法の成立」(p.182~186) 精神保健福祉 : 第3章 A-2「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」(p.47~55)、第5章 B-1-2「障害者総合支援法における社会資源」(p.135~138)
		o 精神障害者保健福祉手帳	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-2-3「生活を支えるための法律と制度」(p.330~334) 公衆衛生 : 第7章 D-2-2「地域での生活を支える制度」(p.213~215) 社会保障・社会福祉 : 第7章 B-1-4「精神障害者の特徴」(p.171~172) 看護関係法令 : 第4章 B-1-6「精神障害者保健福祉手帳」(p.129) 精神保健福祉 : 第3章 A-1「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」(p.40~47)、第7章 A-2-3「地域生活支援が必要な場面と、社会資源について」(p.210~217)

目標V. 精神疾患・障害がある者の人権と安全を守り、回復を支援する看護について基本的な理解を問う。

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
5 安全な治療環境の提供	A 安全管理〈セーフティマネジメント〉	a 病棟環境の整備と行動制限	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-3-1「安心と安全の確保」(p.102)、C-1「治療と環境」(p.116~118)、第10章 A「リスクマネジメントの考え方と方法」(p.144~157)
		b 自殺、自殺企図、自傷行為	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-1「自殺」(p.158~166)、第12章「サバイバーとしての患者とそのケア」(p.248~260) 精神保健福祉 : 第4章 B-2-3「自殺対策」(p.93~96)
		c 攻撃的行動、暴力、暴力予防プログラム	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 B-2「暴力」(p.166~177)
		d 災害時の精神科病棟の安全の確保	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 C「院内を中心とした災害時のケア」(p.182~187) 看護の統合と実践 [3] (災害看護学・国際看護学) : 第2章 E-5「精神障害者に対する災害看護」(p.140~143)
6 精神保健医療福祉の変遷と法や施策	A 患者の権利擁護〈アドボカシー〉	a 当事者の自己決定の尊重	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第8章 B-1「人としての尊厳を尊重する」(p.8~10)、第13章 A-3-2「ケアマネジメントを支える思想」(p.267~268)
		b 入院患者の基本的な処遇	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-2「入院するとき」(p.96~101) 看護関係法令 : 第4章 B-1-4「医療および保護」(p.127~129)
		c 精神医療審査会	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 B-2「入院するとき」(p.96~101) 精神保健福祉 : 第2章 A-1-4「精神保健法の制定」(p.19~20)、第3章 A-1-1「精神保健福祉法の主要項目」(p.40~42) 看護関係法令 : 第4章 B-1-5「精神医療審査会・地方精神医療審査会」(p.129)
		d 隔離、身体拘束	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第10章 A-2「リスクマネジメントと行動制限」(p.146~157) 精神保健福祉 : 第8章 B-3-4「虐待防止の体制整備と取り組み」(p.261~264)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
	B 精神保健医療福祉の変遷と看護	a 諸外国における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 A 「精神障害と治療の歴史」 (p.282~293) 精神保健福祉 : 第2章 B 「諸外国における精神保健福祉改革」 (p.34~38)
		b 日本における精神医療の変遷	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 B 「日本における精神医学・精神医療の流れ」 (p.293~304) 精神保健福祉 : 第2章 A 「わが国の精神保健福祉の変遷」 (p.12~33)
		c 精神保健医療福祉における看護師の役割	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第1章 D 「精神看護学でなにを学ぶのか」 (p.20~23)、第7章 E-1-3 「精神科看護師にとっての法律や制度」 (p.317~318) 精神保健福祉 : 第7章 A-2 「地域生活支援の展開と看護師の役割」 (p.208~217)
	C 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の運用	a 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の基本的な考え方	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-1-4 「精神科看護の基本となる法律」 (p.319~320) 看護関係法令 : 第4章 B-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.125~132)
		b 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉による入院の形態	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.327~330) 看護関係法令 : 第4章 B-1-4 「医療および保護」 (p.127~129) 精神保健福祉 : 第3章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.40~47)
		c 精神保健指定医	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第7章 E-2-2 「医療を受けるための法律と制度」 (p.327~330) 看護関係法令 : 第4章 B-1-3 「精神保健指定医」 (p.126~127) 精神保健福祉 : 第3章 A-1 「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」 (p.40~47)
7 精神保健医療福祉における多職種連携	A 多職種連携と看護の役割	a 医師、歯科医師	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 D-2 「治療共同体の実践」 (p.275~276) 精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第9章 C-5-4 「情報の流れと双方向のコミュニケーション」 (p.134)
		b 保健師	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 C-1-3 「地域の相談窓口」 (p.281~282) 公衆衛生 : 第7章 D-1 「精神保健の活動理念」 (p.209~212)
		c 精神保健福祉士	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 C-1-3 「地域の相談窓口」 (p.281~282) 社会保障・社会福祉 : 第1章 B-6 「社会保障・社会福祉の従事者と担い手」 (p.26~27) 看護関係法令 : 第3章 C-2 「精神保健福祉士法」 (p.101~102) 精神保健福祉 : 第4章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		d 作業療法士	精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第6章 D-4 「作業療法」 (p.277~278) 精神保健福祉 : 第4章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		e 精神保健福祉相談員	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 C-1-3 「地域の相談窓口」 (p.281~282) 精神保健福祉 : 第4章 A-2 「精神保健福祉に関する支援システム」 (p.73~81)
		f ピアサポーター	精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第13章 C-5-1 「セルフヘルプグループ」 (p.290) 公衆衛生 : 第7章 D-3-2 「入院を減らす取り組み」 (p.219~220) 精神保健福祉 : 第5章 B-5 「ピアサポート」 (p.149~153)

大項目	中項目	小項目	系統看護学講座の該当箇所
		g 薬剤師 h 栄養士 i 臨床心理技術者(臨床心理士、公認心理師等)	<p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 G-1 「病棟のダイナミクス」 (p.60)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 G-1 「病棟のダイナミクス」 (p.60)</p> <p>精神看護学 [1] (精神看護の基礎) : 第 6 章 C-1-2 「支持に力点をおいた療法(支持療法)」 (p.260~261)</p> <p>精神看護学 [2] (精神看護の展開) : 第 8 章 G-1 「病棟のダイナミクス」 (p.60)</p> <p>精神保健福祉 : 第 4 章 B 「早期の対応と地域生活をつなぐために——二次予防」 (p.81~101)、第 5 章 B-2 「アウトリーチ」 (p.138~141)、B-6 「地域における精神障害者への危機介入」 (p.153~156)、第 6 章 A 「長期入院患者の地域移行支援の展開」 (p.158~173)</p>